

## ◎香港電腦中心

お盆休みはHONG KONGへ!

## マニアのための香港電腦中心ガイド

レポーター：波多 利朗

本誌流にいうならば、「なにをいまさら香港電腦中心」ということにならざるを得ない。それほどまでに、香港電腦街はDOS/Vユーザーの間で有名になってしまった。

香港の電腦中心は、いままでにも各誌で取り上げられたこともあるし、また実際訪問した方も多いため、改めて紹介するまでもないかもしれない。

そこで今回は、香港電腦中心の現状といったものを紹介してみたいと思う。また、電腦中心以外にも、マニア諸氏が喜びそうな場所も併せて紹介する。

なお、今回の紹介記事は、1994年5月現在の情報である。価格等の情報は日々変化するため、あくまでも参考として見ていただきたい。

## 香港の電腦中心

香港は、パック旅行でも安いツアーがたくさんあるため、訪れる人も多い。DOS/Vブーム初期の頃は、日本よりも価格が安く、種類も豊富であるということで、日本の廃人が大挙して押しかけたものである。

香港には、コンピュータ関連商品を取り扱っているショップの集合体である、いわゆる「電腦中心」が、1994年5月現在で、大きく分けて7つある。地元では、これらを「七大電腦商場」というふうに呼んでいるようだ。以下に、その7つを示す。

- \* 高登電腦廣場
- \* 黄金電腦廣場
- \* 旺角電腦中心
- \* 星光電腦中心
- \* 新高登廣場
- \* 皇室堡電腦廊
- \* 銅鑼灣電腦中心

これらの電腦中心連合は「星島日報」という、中文、英文2カ国語の情報誌を出しており、各電腦中心で無料で入手することができる(写真1)。

## 香港電腦市場の現状

香港における電腦関連商品の価格は、日本と比較するとかなり安い。部品(マザーボード、ビデオカード)の値段も安いのが、セット物の価格はさらに格安となっている。

参考として、表1に部品の価格の一例を、また表2に、旺角、深水埗の各ショップが配っているチラシをもとに作成した、セットもののパソコンの価格表を示す。

なお、ここに示した価格はほんの一例であり、もっと安い店もあるものと思われる。価格は1994年5月上旬現在のものだ。

香港でも、メインとなっているものは、PCIバスとPentiumであり、これらの関連商品は至る所で見受けられる。VLバスのマザーボードも健在で、種類も豊富である。

一方では、386SXや386DXを使用した超低価格のマザーボードも、現役に販売されている。SIMMメモリの価格は、思ったほど安くはないようだ。詳細な調査を行ったわけではないが、見たところ日本の価格と同じか、若干高いところもあった。

ひところ摘発を受けてすっかり姿を消したといわれていたコピーソフトの販売店もすっかり復活しており、数軒見受けられた。しかしコピー販売しているソフトはゲーム関係がほとんどで、ビジネスソフトは、あまり見受けられない。その一方で、正規版のソフトを

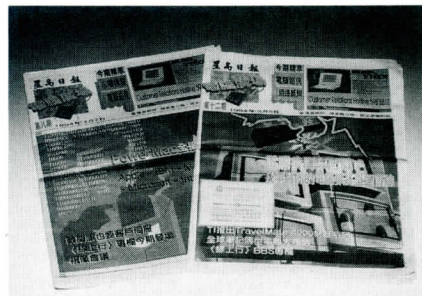


写真1 「星島日報」の表紙

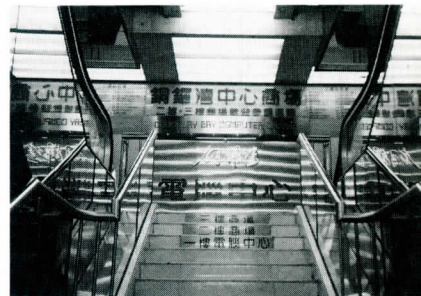


写真2 銅鑼灣中心商場の入り口

販売する店も多くなってきている。

なお、秀和システムトレーディングという会社から、『電腦アジアコピー天国(クーロン黒澤著:1500円)』という、題名からしてアヤシイ本が出版されている。

この本は、香港に限らず、台湾、フィリピン、シンガポール、マレーシアなどの電腦グッズ関係情報をまとめたもので、その方面の趣味を持つ人にとっては、そこらの観光案内書などより、よほど役に立つ。旅行に行かれる前に、一読しておくことをお勧めする。

## 銅鑼灣電腦中心

香港島の地下鉄「銅鑼灣」駅で下車し、崇光(そごう)デパートの正面玄関前に出て、円形の歩道橋が見える道を進む。銅鑼灣中心商場という雑居ビルの2階が電腦中心で、3、4階がショッピングセンターとなっている。入り口は若干わかりにくいのが、歩道から「銅鑼灣中心商場」の看板が見えるので、それを目印にすればよい(写真2)。

ビル内部は、秋葉原のラジオデパートとよく似ている。ゲームソフトのコピー店も、2~3店入っており、品ぞろえもよい(写真3、4)。ただ、こういったショップは、当局の取り締まりがあるとすぐ姿を消すため、いつ行ってもあるという保証はない。

価格は表示されていない場合が多いが、そう高いということはなさそうだ。セットもの

◎香港電腦中心

のパソコンのほかにも、マザーボードや拡張カードなどの部品が豊富にある(写真5、6)。旺角や深水埗のショップでは、店頭でセットもののパソコンや部品の価格をコピーしたチ

ラシを用意しているが、銅鑼灣ではそういったものはあまり見受けられない。

銅鑼灣中心ビルの中には、電腦ショップのほかにも、漫画屋やCD屋といったマニア系

ショップが同居している。漫画店の店頭は、日本のコミックスで埋めつくされている(写真7)。

筆者が訪れた時には、某アニメ専門店とおぼしき店先で、ドラゴンボールのVTRが放映されており、昭和30年代の街頭テレビよろしく、人が群がり食い入るように見入っていた。

種別	内容	価格 (香港ドル)
Mother Board	VL×3, ISA×7, i486&P24T, w/o CPU, Cache256k	655
Mother Board	VL×3, ISA×6, XT×2, i486&P24T, w/o CPU, Cache256k	720
Mother Board	VL×2, ISA×6, XT×1, i486&P24T, w/o CPU, Cache256k	700
Mother Board	ISA×5, XT×1, i386SX-40MHz, w CPU, Cache0k	560
Mother Board	ISA×5, XT×1, i386SX-40MHz, w CPU, Cache128k	800
Mother Board	ISA×6, i386DX-40MHz, w CPU, Cache128k	830
Mother Board	ISA×5, XT×1, w TI TX486DLC/E-40MHz & CO-pro	1380
Video Card	OAK Chip, VL-Bus & ISA-Bus, 64kColor	150
Video Card	Trident8900D, ISA-Bus, 1MB-VRAM	500
Video Card	Trident9000C, ISA-Bus, 512K-VRAM	325
Video Card	S3-805, VL-Bus, 1M-VRAM	750
Video Card	Cirrus CL-GD5428, VL-Bus, 1MB-VRAM	650
Video Card	Trident9400-CX1, VL-Bus, 1MB-VRAM	590
Video Card	Trident9000A, ISABus, 512K-VRAM	350
Video Card	Trident8900D, ISA-Bus, 1MB-VRAM	500
Video Card	Cirrus CL-GD5422, ISA-Bus, 1MB-VRAM	600
Sound Card	MULTIMEDIA TRUE16SOUND CARD, CD-ROM I/F	680
Sound Card	Audio Excel16-bit SOUND CARD, CD-ROM I/F	650
Sound Card	Music Fantasy SOUND CARD	180
Multi I/O	VL-Bus, IDE-I/O, FDD-I/O, 2S, 1P, 1G	30
Multi I/O	ISA-Bus, IDE-I/O, FDD-I/O, 2S, 2P, 1G	85
AT-I/O	XT-Bus, 2S, 2P, 1G	65
IDE-I/O	IDE-I/O, FDD-I/O	90
NETWORK	NE-2000Compatible	380
MOUSE	MICROSOFT MOUSE	250
16550Chip		120
OSCRATOR	33/40/50/66MHz	@20
5 inch FD	5inch, 1.2MB FD×10	40

表1 IBM互換機の単体部品価格

ここに示すのは、香港の各電腦中心での、IBM互換機用部品の価格の一例である。価格は、1994年5月現在のものである。日本円への換算は、1香港ドル=14円として計算すればよい

CPU	BUS	RAM	HDD	VIDEO	CRT	etc.	香港ドル
486DX2-66MHz	VL	8MB (70ns)	IDE (420M)	VL 2M-RAM	15"	-	16888
486DX-33MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (250M)	VL 1M-RAM	15"	CD-ROM, PAS16	16388
486DX-40MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (270M)	VL 1M-RAM	14"	FAX/MODEM	12888
486DX-40MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (270M)	VL 1M-RAM	14"	-	11688
486DX2-66MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (270M)	CL-GD5428-1M-VL	14"	-	9800
486DX2-50MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (270M)	CL-GD5428-1M-VL	14"	-	8800
486DX2-66MHz	PCI	8MB (70ns)	SCSI (540M)	PCI 1M-RAM	14"	-	16880
Pentium60MHz	PCI	16MB (70ns)	IDE (420M)	PCI 1M-RAM	14"	-	25900
486DX-33MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (240M)	ISA 1M-RAM	14"	-	8660
486DX2-66MHz	VL	8MB (70ns)	IDE (520M)	VL 1M-RAM	14"	-	14980
486DX-40MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (210M)	Trident9400-VL	14"	-	8988
386DX-40MHz	ISA	4MB (70ns)	IDE (210M)	CL-GD5422-1M-ISA	14"	-	7280
486DX2-66MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (420M)	CL-GD5428-1M-VL	15"	-	11100
386DX-40MHz	ISA	4MB (70ns)	IDE (210M)	Trident8900-ISA	14"	-	6500
Pentium60MHz	PCI	8MB (70ns)	IDE (420M)	PCI Viper-2MB	14"	-	23000
486DX2-50MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (245M)	CL-GD5428-1M-VL	14"	-	10200
Pentium60MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (420M)	CL-GD5428-1M-VL	14"	-	15050
486DX2-66MHz	PCI	8MB (70ns)	IDE (420M)	S3-1M-PCI	14"	-	13200
Pentium66MHz	PCI	8MB (70ns)	IDE (420M)	S3-1M-PCI	14"	-	19100
386DX-64MHz	ISA	4MB (70ns)	IDE (210M)	SVGA-1M-ISA	14"	-	7200
Pentium60MHz	PCI	8MB (70ns)	SCSI (340M)	S3-1M-PCI	15"	-	21200
486DX-33MHz	PCI	4MB (70ns)	IDE (210M)	S3-1M-PCI	14"	-	11300
486DX2-66MHz	VL	4MB (70ns)	IDE (420M)	CL-GD5428-1M-VL	15"	-	11100

表2 IBM互換機のセットものの価格

ここに示すのは、香港の各電腦中心での、IBM互換機のセット価格の一例である。主に旺角と深水埗の各ショップのチラシから抜粋した。価格は、1994年5月現在のものである。日本円への換算は、1香港ドル=14円として計算すればよい。すべてのマシンには、3.5インチと5インチのFDDが含まれているため、表中では省略してある。また、キーボード、マウスについても、セットに含まれているため、とくに記載はしていない



写真3 コピーソフトのパッケージ



写真4 銅鑼灣電腦中心にある、違法ソフトコピー屋の入り口

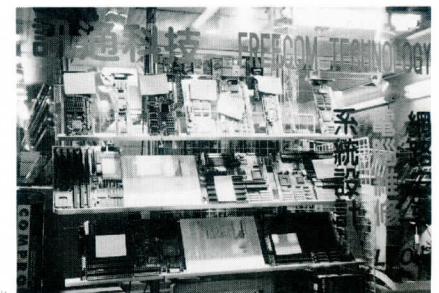


写真5 銅鑼灣電腦中心内のショップ

### ◎香港電腦中心

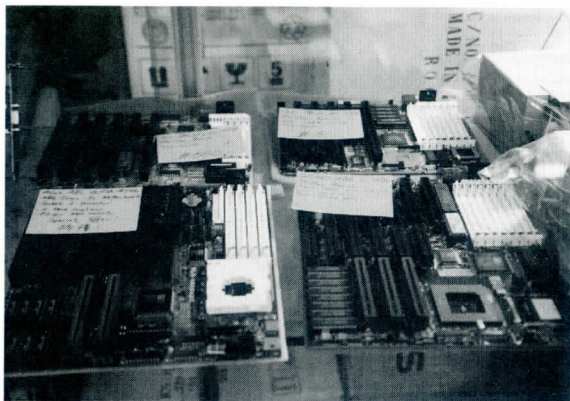


写真6 銅鑼灣電腦中心で売られていたマザーボード



写真7 銅鑼灣中心商場内にある漫画店に並ぶ、日本のコミックス

10)。コピーソフト屋は、見たところ1軒だけあり、細々と営業していた。

このビルのテナント料はかなり高いようで、11階はそこそこショップが入っているものの、12階は半分程度しか入居していない。また、エレベーターの横には、テナント募集のチラシが置いてあった。

このビルには、巨大おもちゃ屋チェーンとして有名な「トイザラス」があるが、閑古鳥鳴きまくり状態で、店員も暇を持て余していた。品揃えはよいのだが、値段が高いせいか、客がほとんどいない。あれでよくつぶれないものだと、感心してしまう(写真11)。

### 皇室堡電腦廊 (WINDSOR HOUSE)

皇室堡(WINDSOR HOUSE)と呼ばれている高く立派なビル(写真8)の11階、12階に位置するのが、皇室堡電腦廊である。先の銅鑼灣中心ビルから、徒歩3分程度のところにある。なにぶんかいビルなので、発見するのはたやすいであろう。

エレベーターでアクセスする時は、11階、12階に行くエレベーターが1基しかないので注意しよう。しかもボタンを押してもなかなか来なくて、忘れた頃にドアが開くといったシロモノだ。もちろん、エスカレーターでもアクセスできる。

11階は「88電腦廊」、12階は「電腦廣場」と

呼ばれている。11階と12階とでは、とくに違いがあるわけではなく、なぜ名称が異なっているのか、疑問である。

フロア面積はかなり広く、秋葉原にあるラオックス・ザ・コンピュータ館のフロアひとつ分よりも大きいように思える。最近できたばかりのビルなので、設備は新しく、スーパークリーンなイメージがある(写真9)。

各ショップは窓側に位置しているので、店内からの銅鑼灣の眺めもなかなかよい。

ここも、各ショップは価格を表示したチラシを用意していない。入っているショップは、セット物のマシンを売る店、拡張カードを売る店、コネクタばかり取り扱っている店と、なかなかバラエティーに富んでいる(写真

### 國都商場 (OLYMPIA SHOPPING CENTER)

地下鉄「炮台山」駅で下車して、「北角」駅方向に5分ほど歩くと、「國都商場(Olympia Shopping Center)」と書かれたビルにたどりつく(写真12)。まさに、絵に描いたような典型的雑居ビルである。2~4階に、電腦関係を扱ったショップが入っているが(写真13)、そのほかにも漫画屋やCD屋、おもちゃ屋などのショップが同居している。

皇室堡電腦廊を見たあとで行くと、店内が非常に暗く、いかにも怪しげな感じを受ける。



写真8 皇室堡ビルの入り口

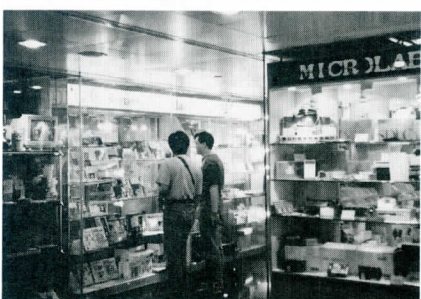


写真9 皇室堡電腦廊の内部

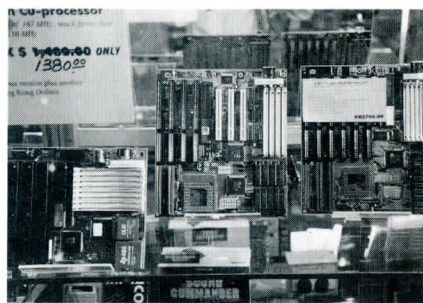


写真10 皇室堡電腦廊のショップのショーウィンドウ



写真11 皇室堡ビルの中にあるおもちゃ屋「トイザラス」の入り口

◎香港電腦中心



写真12 國都商場の外観



写真13 國都商場の内部



写真14 國都商場の中にあるアンティークショップ「奇趣古物店」

その中でも、「奇趣古物店」(写真14)というアンティークショップは、とんでもなく珍妙な物ばかり集めてディスプレイしており、異彩を放っていた。

やはり秋葉原のラジオデパートの雰囲気似ているが、商品が種々雑多で、あまり整理されていない感じを受ける一方、怪しげな雰囲気はなかなか楽しい。ここも、各ショップはチラシを用意していない。

キャットストリート  
(CAT STREET)

地下鉄「上環」駅で下車し、山側へ歩いていくと、かなり長い階段がある。その階段を半分ほど登ったところに摩羅上街という通りがあるが、ここが通称「キャットストリート」(写真15)である。某情報雑誌では、「車が通らないことをいいことに、老人が路に露店を広げてジャンク(がらくた)を売っており、午後2時には店をたたんでしまうところ」と書かれている。

そのため筆者はリキを入れて、午前10時半頃に訪れたが、今度は早すぎて半分くらいしか開店していなかった。香港でも有名なジャンク街になっているだけあり、並んでいるジャンクも半端じゃない。どう考えてもゴミとしか思えないものばかりである。

レトロ趣味の筆者としては、羽根が金属製の、大昔の扇風機が目をついた(写真16)。もし持って帰れるのなら、購入していたところだ。AT互換機のジャンクもあったが、デスクトップタイプの286マシンばかりで、たいしたものは見当たらない。

互換機用部品としては、中古のきたないカバンやVTRテープに混じって、AT用電源が転がっていたくらいで、ほとんど目ぼしいものは発見できなかった(写真17)。

パソコンジャンクよりも、手巻きの腕時計とか毛沢東バッジといったもののほうが目についた。とくに毛沢東バッジは、文化大革命華やかなりし頃の1968年前後の本物で、大小とりまぜてたくさんある。珍奇なおみやげを狙っている人にとっては、ありがたいグッズ



写真16 キャットストリートにある店

ズであろう。価格は1個100円程度。まけさせればもっと安くなるはずである。

キャットストリートの近くには、「文武廟」というお寺があるので、パソコンばかり見ないで、たまには信心深くお参りしていこう(写真18、19)。

星光電腦城  
(STAR COMPUTER CITY)

尖沙咀先端のスターフェリー乗り場の近くにある「星光行ビル」の中にある電腦中心である(写真20)。フロアはひとつのみで、規模はそれほど大きくはない。最近出来たショッピングセンター街で、店内は非常に明るくきれいである(写真21~23)。そのためか、怪しげ



写真18 文武廟全景



写真15 キャットストリート全景



写真17 ゴミの中にAT電源が……

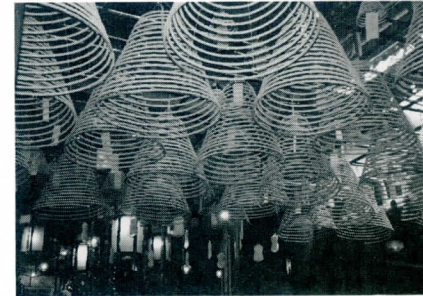


写真19 文武廟の巨大な線香

## ◎香港電腦中心

なものはそれほどなく、ジャンクマニアにとっては多少物足りないかもしれない。

クリーンなイメージを押し出しているためか、見たところコピーソフト屋は一軒も入っていない。なお、階上には、「北京樓」と



写真20 星光電腦城の入り口



写真21 星光電腦城の内部



写真22 星光電腦城にあるノートパソコン店の店先

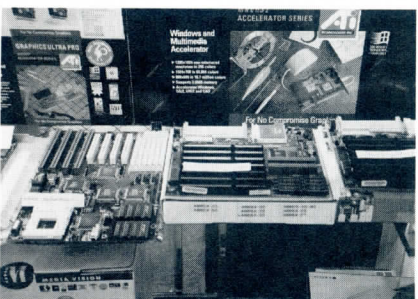


写真23 マザーボード店の店先

呼ばれるレストランがある。味のほうはどの程度かはわからないが、非常にうまいという評判もあるようだ。

### 新港中心

尖沙咀の廣東道と海防道との交点近くに建っているビルである。付近にはオムニ・マルコポーロ・ホテルがある。

いちおう電腦ショップがあるとの情報をもとに訪れたが、ここは完璧にハズした。電腦ショップは地下1階にあるが、規模も小さくテナントもほとんど入っていない。まあ、場所がよいので、さぞかしテナント料も高いのであろう。

同じ地下1階には、客がほとんどいないゲームセンターがあるが、いま流行りのTVゲームはあまりなく、体力を使うレトロなゲームばかりを揃えてあり、それがかえって懐かしい雰囲気を醸し出している。

地下2階には、結構大きい食堂街があるので、気を落とさずに飯でも食って帰るのがよい。

### 旺角電腦中心

地下鉄「旺角」駅下車。超有名な電腦ショップビルである。もうここは改めて紹介するまでもないであろう。地上4階建てのビルの2~4階に、電腦ショップが入っている(写真24)。

他の電腦中心と異なり、電腦関係以外のショップは入っていない。建物が新しいので、内部空間は快適である。ここでは、各ショップが価格表のチラシを用意しているの、時間がない場合は片っ端から集めてきて、あとで安い店を検討するということができる。

コピーソフト屋も健在で、数軒見受けられた(写真25)。値段は、深水埗よりも少し高めといったところであるが、数ある電腦中心の中では低めだ(写真26)。

なお、ここではスーパーファミコン用バックアップマシン(GAME DOCTORなど)を専門に取り扱っているショップも入っている(写真27)。

旺角電腦中心へのアクセスは難しい。地下鉄「旺角」駅を出てからしばらく歩かなければならないが、この辺の路上は混雑が半端ではないため、ビルを見つけるのに非常に苦労す



写真24 旺角電腦中心ビルの外観



写真25 旺角電腦中心内にあるソフトコピー店

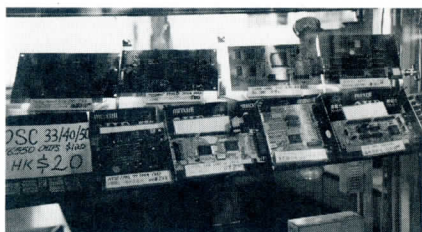


写真26 旺角電腦中心内のショーウィンドウ

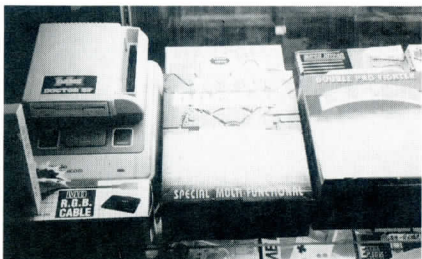


写真27 旺角電腦中心内でみかけた、スーパーファミコン用バックアップマシン

る。初めての方は、地図による事前検討を十分に行うことをお勧めする。

◎香港電腦中心



写真28 地下鉄「深水埗」駅の出口



写真29 高登電腦中心ビルの外観



写真30 高登電腦中心近くの雑踏

高登電腦中心(深水埗)

こも有名である。行きかたは、旺角電腦中心と異なって簡単だ。地下鉄の「深水埗」駅で下車して、適当な出口で地上へ出ると(写真28)、運がよければ、高登電腦中心の入口の前に到達できる(写真29)。

地上の風景は、旺角と同じようなもので、とても混雑している。だいたい香港の街は、どこに行っても混雑しており、人が多くて非常に歩きにくい(写真30)。

さらにここは、啓徳空港へ着陸する飛行機の通過経路になっているため、頭上を大きな機体の旅客機が轟音とともに通過し、なかなかの香港気分を演出してくれる。

今回訪れて驚いたのは、高登電腦中心入口のすぐ横に、堂々とコピーソフト屋が開店していたことだ。前回訪問時にはなかったため、摘発後に開店したショップと思われる。しかし、道に面して店を出すとは、「やるな深水埗」といったところである。

この高登電腦中心は、建物の構造が非常にわかりにくいので有名だ。うっかりすると迷ってしまうので、注意しよう。また、ここではハッキリと、「撮影禁止」の看板が出ている。筆者が訪れた時は、土曜日の午後であったので、秋葉原の「たんせい」並みのムチャ混み状態であった。

高登電腦中心では、旺角電腦中心のように、各ショップが価格表を用意しているの、便利である。値段は香港のなかでも最も安い部類に属し、筆者もここではよく購入したものだ。時間が無い場合には、他の電腦中心はパスして、ここを重点的にチェックするだけで、ほとんどの目的が達成できると思われる。

1年前(93年3月)に行った時には、違法コピー屋だらけだったが、さすがに摘発を受けた後遺症か、数はずいぶん減っていた。高登電腦中心の周りには、新高登電腦中心、科技電腦中心等のショップ街があるが、今回は時間の関係で行けなかった。いずれも、高登電腦中心のすぐそばなので、ついでに寄ってみることをお勧めする。

信和中心

ここは、電腦ショッピング街ではないが、番外編として紹介しておく。いわば香港版「オタク中心」とでもいえそうな所で、東京・神田の書店、書泉グランデと、秋葉原ラジオデパートとを足して二で割ったような感じである。

4階建てのビルの内部は、ほとんどすべてオタク用品販売店で占められている(写真31)。漫画屋あり、CD屋あり、模型屋あり、切手屋あり、アイドル写真集を売る店ありと、マニアの要求をほとんどすべて満たしてくれる(写真32)。

今回は、やはり時間がなく、午前11時半頃訪れたが、開いている店が皆無という、信じられない状況であった。午後にならないと開店しないようだ。

場所は旺角と油麻地の間、彌敦道沿に面したビルである。旺角から油麻地へ彌敦通りを歩いていくと、左側にある。

なお、信和中心の近くには、好景商場というショッピングセンターが開店したそうであるが、今回は時間の関係で残念ながら寄れなかった。



写真31 信和中心の看板



写真32 信和中心の内部

